

- 町の掲示板 2
- 町の話 12
- know「農」 14
- カルチャー 15
- 町の情報ひろば 16
- 素敵人 18
- こうげマンが行く! 18

http://www.town.koge.lg.jp



町の花(春) 桜



町の花(秋) コスモス



町の木 梅

●編集発行／上毛町役場企画情報課
●印刷／第印刷株式会社
〒871-0902
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-32-11
TEL 0979-723-3111
FAX 0979-723-4664

人の動き

11月30日現在

- 世帯数 3,144 (+3)
- 男性 3,745 (-1)
- 女性 4,167 (+2)
- 人口 7,912 (+1)
- 65歳以上 2,557 (-4) 32.3%
- 75歳以上 1,387 (-6) 17.5%

うち外国人

- 人口 26(±0)
- 男性 17(±0)
- 女性 9(±0)
- 世帯数 23(±0) (うち混合世帯4)

参考

- 平成17年10月11日
合併時
- 人口 8,499
 - 世帯数 3,057

ごみの量

11月30日現在

- 可燃ごみ 120.25t (-15.24t)
- カン・ペットボトル 2.05t (-1.40t)
- びん 3.62t (-1.78t)
- 古紙他 11.28t (-2.20t)
- 可燃粗大 2.10t (-0.99t)
- 不燃 7.21t (+1.00t)
- プラスチック製容器包装 1.90t (+0.30t)
- 紙パック、白色トレイ 0.03t (-0.05t)

※()内は前月増減

環境対応型植物油インキを使用しております。

獺年

楽師として 雅楽を未来に 継承する

くないちようしきぶじよくかくぶかくし
宮内庁式部職楽部楽師

久恒 壮太郎 さん

中学卒業まで過ごした旧大平村では、東上の八社神社で行われる春のお祭りの近くになると集会所で篠笛の練習をして本番で吹いていました。今思えば、そのころから日本古来からの笛の音色や楽器に興味があったのだと思います。中学になって中津市の小幡記念図書館や本屋に通い、今まで見たことのない楽器の図鑑や写真入りで紹介された雅楽の本を読んだりしていました。雅楽の本の末刊に中学卒業程度での宮内庁式部職楽部楽生募集を見つけ、願書を取り寄せました。実際、実家に宮内庁から資料が届けられた時、びっくりした両親から学校に電話があり、呼び戻されたのを覚えています。

楽生の採用試験は、主にピアノの音を聞き分ける聴音のテストや、体のバランスを見る体力テストでした。さらに楽生から楽師になるには、7年間マンツーマンで歌、管、舞をすべてこなし、絃、打楽器の教育を受けます。まず始めに学ぶことは、雅楽のすべての基礎となる各楽器の旋律を唱にした唄歌で、これを覚えるまでは楽器を持たせてくれません。それから意外なようですが宮中晩餐会などで演奏するために西洋音楽(オーケストラ)も習得します。私は中学卒業から楽生となりましたので、高校には夜間通いました。楽師は23歳から65歳までで定員は24名と決まっています。昔は世襲職でしたが明治以降一般の採用も行われるようになりました。

私が勤務する宮内庁式部職楽部は皇居の一角におかれており、演奏する雅楽はユネスコの無形文化遺産に登録され、楽師たちは重要無形文化財雅楽の技能保持者に認定されています。雅楽は古代アジア大陸諸国の音楽と舞が中国や朝鮮半島から日本に伝わり融合してできた芸術で、ほぼ10世紀に完成し、伝承されてきた日本で最も古い古典音楽です。雅楽には、歌舞のほかに楽舞があり、管絃と舞楽と歌謡とに分か

■ 1月1日、朝6時30分からNHKで放送される雅楽に、久恒壮太郎さんは舞で出演予定です。

昭和58年(1983)上毛町東下に生まれる。築上東中学校卒業後、宮内庁式部職楽部に楽生として入団。楽部では箏篋を主に、琴、バイオリン、舞、歌などを7年間修行した後、楽師となる。

使用される楽器には日本古来の神楽笛・和琴などのほかに、外来の笙・篳篥・笛などの管楽器と、箏・琵琶などの絃楽器、鞆鼓・太鼓・鉦鼓・三の鼓などの打楽器があります。舞台に対照で設置されるふたつの大太鼓は左方は太陽を、右方は月を表しています。

雅楽は宮中の儀式、饗宴、園遊会などの行事で演奏するほか、毎年2回定期演奏会や地方公演を開催しています。主に国の大切な行事での演奏や舞が多いため、儀式の進行や天候を考え決められた時間内での出演はいつも気を引き締めて臨んでいます。また海外公演では、平成24年に英国エディンバラ国際芸術祭に参加させていただきチケットが即日完売するなど雅楽に対する関心の深さが感じられました。これからも国内外問わず、多くの方に雅楽を知っていただき、国境を越えた世界音楽となるようにがんばっていききたいと思います。

楽師は千数百年の伝統ある雅楽を、正しい形で保存する大切な仕事です。ほとんど予備知識もなくこの世界に飛び込んできましたので、たくさんの方に助けていただきました。何事もはじめるには準備が大切ですね。しかし自分が好きでやりたい事であれば、それに向かってがむしゃらに進んで行くとなんとかかなと思います。これから進路を決める皆さんは、そのためにも人との出会いを大切にしてほしいと思います。どうか夢や希望を実現に向けてがんばってください。



こうげマンが行く! はっしゃ じん じゃ 八社神社 東上



八社神社の氏子の皆さんからはじまった友枝神楽は毎年、除夜の鐘とともに奉納されているよ。

●イラスト 絵本製作委員会 東みどりさん

新しい年の始めに、こうげマンは八社神社に行って来たよ。八社神社は古くは明神宮という名称で天照大神のみを祀っていたんだけど、天文十八(1549)年に叶松城主内尾伊豆守藤原親賢氏が、相模国鎌倉から鶴岡八幡宮を勧請してからは、八所大明神や八社大神宮という名称でも信仰されていたんだ。明治四(1871)年におこなわれた神社御改正の時から、現在の「八社神社」の社号に改められたそうだよ。

境内には神霊の宿る石として信仰されていた「御宝石」とよばれる花崗岩の巨石が二石あるよ。境内の階段下にある土俵を囲む「四本檜柱」は江戸時代後期に相撲取りが英彦山に参詣した時、霊仙寺境内に生えていた檜苗4本を持ち帰り、土俵四隅に植えたと言われているよ。当時の檜は平成3年の台風で倒れたので新しく植樹したそうだよ。

参道の階段左奥にある「八幡石」は秋の奉納神楽が行われた夜、東上と東下から一名ずつ代表者が身を清め、馬場とよばれる広場で競争していた時の目標石なんだって。八幡石に立てかけている御幣を先に取った地域が翌年豊作になるといわれていたそうだよ。

こうげ
KOGÉ absolute peach
素敵人

御宝石

土俵跡と四本檜柱

八幡石